

後期高齢者医療制度 市の対応を問う

無会派 奥村 正憲



問：現在、国会では、後期高齢者医療制度をめぐってさまざまな動きがありますが、この制度は、国の医療費削減を目的につくられた制度と考えます。

国は5年間で、医療費を1兆1000億円、1年に2200億円ずつ削減しようとしています。しかし、このことによる負担は、現役世代を含め、市民にまわ

答（市長）：国に対し制度の円滑な運営、医師等の確保、療養病床の再編について、万全の措置を講ずるよう要請しました。今後は、問題解決のための具体策が示されると思いますが、現段階では、法が施行されているため、制度の適正な運営をする立場にあります。

海老名北ジャンクション内の道路、機能回復は

新政海クラブ 鶴指 眞澄



問：地方分権改革の第二次改革におけるまちづくりとは行政と住民が協働し、十分な話し合いの下、合意形成し実施するものです。さがみ縦貫道路に関連しての道路計画・整備事業等は地域のまちづくりに重要なものと思いますが、海老名北ジャンクション内の生活道路の機能回復策をどう考えているか伺います。

答（建設部次長）：機能回復の対象路線として南北に通過する市道2161号

ロマンスカー海老名駅 停車は出来るのか？

市政クラブ 相原 繁



問：東京メトロをロマンスカーが走ることになり、市民も海老名駅に停車することを期待していましたが、

老名駅は今が一番のチャンスなので、小田急としっかり交渉したいと答弁されています。これまでの交渉経過と今後の展望を伺います。

答（市長）：神奈川県鉄道輸送力増強促進会議において、小田急に継続して要望しています。小田急の回答は、特急列車の停車駅は旅客の利用状況等全線の列車運行を勘案して設定しており、海老名駅については、今後の旅客状況や駅周辺、鉄道施設の改善状況を踏まえ検討したいということです。

JR海老名駅との駅間地区の開発などを要素として今後の要望活動につなげたい

幅広に確保した 駐車区画の導入を！

新政海クラブ 氏家 康太



問：ユニバーサルデザインの具現化の一つとして、市役所、保健相談センターの出入り口付近、市営駐車場の法定の障害者区画とは別に、妊産婦、乳幼児連れ、歩行が難しくなってきた高齢者やリハビリ・療養中の方の利用を想定した駐車区

画の整備を提案します。1台当たりの区画幅を3.1m前後と幅広に確保した妊産婦等優先利用ではあるが、だれもが利用できる駐車区画を導入してはどうか。

答（市長）：公共施設の駐車場には身体障害者が利用できる駐車区画がすべての施設に設けられています。幅広の駐車区画の導入は、子ども連れの方や高齢者など、ドアを大きく開けることが必要な方にとって便利と考えます。幅広の駐車区画の設置方法について、各公共施設の駐車スペースや使い勝手の観点から個別に検討を行い、可能性のある施設に試行的に導入していきたいと考えています。



▲駐車区画、もう少し広いと助かります…

地区ごとに学校運営 協議会の設置を！

市政クラブ 坂本 俊六



問：中学校区ごとに、（仮称）「地域に開かれた学校運営協議会」等を設置し、構成員として、PTA役員、学校評議員、地域代表、民生児童委員、幼稚園か保育園の代表、教育委員会、カウンセラーか訪問相談員、教師、児童・生徒代表等で、児童・生徒の問題行動解決の糸口を探る努力をすべきではないでしょうか。

答（教育長）：すでに各学校や中学校区において、学校、家庭、地域が連携し、見交換を行っています。

答（市長）：その事業が、第四次総合計画実施計画に位置づけられているか否か残高を今後も堅持することを目指としています。

借金をしてでも 実施する事業とは？

公明党 福地 茂



問：市は中期財政ビジョンの中で、県下17市で最少の市民一人当たりの市債残高を今後も堅持することを目指としています。しかし今後、借金をしてでも今やらなければならない事業、今しかできない事業が、発生するかもしれない。その際にはどのような対応するのか、基準等を伺います。

剪定枝のリサイクルを！

無会派 三宅 良子



問：第四次総合計画にある、生ごみ、剪定枝等の有機性廃棄物の効率的な循環システムの構築とは、具体

詳しい内容は会議録で

6月定例会の会議録を作成中です。9月には市役所1階の情報公開コーナーや中央図書館で閲覧できますので、ご利用ください。また市のホームページでも見ることができます。

請願・陳情の提出について

請願と陳情は、いつでも受け付けていますが、8月19日（火）の午後5時30分までに提出されますと、9月定例会で審査または議員配付されます。（それ以降の提出は、原則として次回定例会の取り扱いとなります。）詳しくは議会事務局まで、お問い合わせください。

児童の運動能力向上に 向けた対策は？

新政海クラブ 森下 賢人



問：市では、第四次総合計画の政策目標の一つとして「健康づくり」への支援を掲げていますが、2005年の文部科学省の報告によると小学生の体力・運動能力は1980年代以降低下傾向にあるとされています。本市における運動能力測定の実施状況と結果、また、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答（教育長）：本市では10年前に比べ、極端に児童の運動能力は落ちてい

す仕組みづくりをしています。地球温暖化防止のため、できるだけ燃やさない仕組み、可燃ごみの減量化・資源化を図ることが必要です。まずは、取り組みやすい、剪定枝のリサイクルを進めるべきと考えます。

答（経済環境部長）：剪定枝も他の資源物も、自己の役割の中で有効活用するなど、できるだけ排出しないことが基本です。これを前提に市民・事業者・行政の役割分担も含め、総合的に検討していきます。